



2026年1月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 サ ー バ ー ウ ー ク ス  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 大 石 良  
(コード番号: 4434 東証スタンダード市場)  
問 合 わせ 先 執 行 役 員 大 川 敏 昭  
TEL. 03-5579-8029

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年1月14日開催の取締役会において、2025年10月15日に公表いたしました2026年2月期通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 修正の内容

2026年2月期通期連結業績予想の修正（2025年3月1日～2026年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 38,393	百万円 392	百万円 488	百万円 △877	円 銭 △113.72
今回修正予想(B)	39,569	551	665	△705	△91.57
増減額(B-A)	1,176	158	177	171	
増減率(%)	3.1	40.5	36.3	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年2月期)	35,717	1,072	1,066	677	86.21

(注) 2025年2月期及び2026年2月期の1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。

#### 2. 修正の理由

当社グループは、クラウド専業インテグレーターとして、AWSを中心としたクラウド基盤に関するコンサルティング、基盤構築・運用、クラウドサービスの機能強化およびシェア獲得を通じた事業拡大を取り組んでまいりました。近年では、顧客サービス・顧客サポートの高度化や顧客接点の多様化を目的としたデジタルトランスフォーメーションの進展に加え、大規模言語モデルに代表される生成AIなどの最新技術の急速な進化を背景に、大量データの収集・処理・分析ニーズが拡大しております。これらを受け、企業におけるクラウド技術およびクラウドサービスの活用は一段と進展しており、当社グループにおいても、顧客のクラウド利用拡大を背景に為替相場の好影響も加わり事業は順調に成長いたしました。

前四半期においては、クラウドインテグレーション事業における不採算プロジェクトの影響等により業績予想を修正しておりましたが、当第3四半期においては、前回予想に織り込んでいた為替レート146.2円に対し、実績レートが153.2円と約7円の円安となったことから、売上高が増加し、売上総利益ベースで約77百万円の増加要因となりました。

また、販管費につきましては、一部計画していた費用の未発生や発生時期の後ろ倒しに加え、マーケ

ティングファンド<sup>※1</sup>の計上による広告宣伝費の相殺等により、約 81 百万円の減少となりました。

これらの要因を踏まえ、2026 年 2 月期の通期業績予想につきましては、売上高の増加および販管費の減少を背景に、営業利益、経常利益ならびに親会社株主に帰属する当期純利益の各利益段階において、前回発表予想を大きく上回る水準で推移する見込みとなったことから、2025 年 10 月 15 日に公表いたしました 2026 年 2 月期（2025 年 3 月 1 日～2026 年 2 月 28 日）の業績予想を上方修正いたしました。

※1 : AWS や Google Cloud が一定の条件のもと販売パートナー向けに提供するインセンティブ

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上